

崩落の危機を越え、能登の象徴を次世代へ！
第 35 回 公開シンポジウム
見附島の現状と今後の展望



【開催概要】

- 日時：令和 8 年 3 月 8 日（日） 午後 1 時 30 分～4 時 00 分
- 会場：石川県立自然史資料館 2F コミュニケーションホール
- 参加費：無料（申し込み不要・入退室自由）
- 主催：特定非営利活動法人 石川県自然史センター
- 本シンポジウムは、見附島の現状を多角的に分析し、今後の保全や展望について参加者とともに考えることを目的としています。各分野の専門家による最新の研究成果や現地状況報告を通じて、島の自然環境の理解を深め、持続可能な取り組みへの道筋を探ります。

【プログラム：各分野の専門家による報告】

開会あいさつ：石川県自然史センター 理事長 竹上 勉

1. 過去からの地形変遷と 2024 年地震による崩壊
石川県立大学 特任教授 / 自然史資料館 館長 柳井 清治
2. 森林の再生状況と今後の推移
石川県林業試験場 森林環境部長 小谷 二郎
3. 樹木の命を支える水の貯蔵庫 ― 珪藻質泥岩
石川県立大学 准教授 百瀬 年彦
4. 島内の土壌と樹木根系の状態について
金沢大学能登学舎 准教授 中村 華子
5. 地震以降の鳥たちの生息状況
のと海洋ふれあいセンター 普及課長 東出 幸真
6. 見附島周辺を含む能登半島国定公園の復興について
石川県生活環境部自然環境課 課参事 野上達也

問い合わせ：石川県立自然史資料館

石川県金沢市銚子町 4 4 1 TEL:076-229-3450